

全民連だより

ホームページアドレス <http://www.zenminren.gr.jp>

事務局
〒173-8501
東京都板橋区板橋二丁目66番1号
板橋区文化・国際交流課内
電話 03-3579-2018
FAX 03-3579-2309

平成二十二年度(第三十五回)全民連総会
六月十九日(土)・二十日(日)
秋田県羽後町で開催します

昨年の第三十四回全民連総会南相馬大会に於きまして第三十五回全民連総会を秋田県羽後町(うごまち)にて開催と決定いたしました。
おおまかなスケジュールが決まりましたのでご案内いたします。会場等詳細が決まりましたらホームページで公開いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

一 期日

六月十九日(土)・
六月二十日(日)

二 日程

- 【六月十九日(土)】
- 役員会 十三時
- 総会 十四時
- 西馬音内盆踊り・風の盆鑑賞会 十六時
- 情報交換会 十八時四十分
- 交流会参加 二十時四十分
- 【六月二十日(日)】
- 町民俗文化財鑑賞 十時
- 昼食 十二時
- 解散 十三時

羽後町(最寄り駅・JR奥羽本線湯沢駅)への交通アクセス

航空機・・・秋田空港へ→リムジンバスでJR秋田駅へ
 鉄道・・・○JR秋田駅・JR盛岡駅より秋田新幹線「こまち」でJR大曲駅へ→奥羽本線でJR湯沢駅へ
 ○JR福島駅より山形新幹線「つばさ」でJR新庄駅へ→奥羽本線でJR湯沢駅へ
 JR湯沢駅からバス・タクシーで羽後町へ



西馬音内盆踊り

平成21年度 第2回役員会報告

十一月二十一日(土)、日本青年館(東京都新宿区)において平成二十一年度全民連第二回役員会を開催し、二十一年度事業経過報告ならびに今後の事業について協議いたしました。
 主な議題は次のとおりです。

一 平成二十一年度事業経過報告及び今後の予定事業について

①第三十四回総会及び第一回役員会が福島県南相馬市で開催され、視察研修、民俗芸能鑑賞会を含め、盛会裏に終了した。

②平成二十一年度会費の納入状況(十一月一七日現在)九九・四パーセント



(一八五団体中一八四団体納入)
 ③加盟促進活動について「全民連だより」第六十二号を三千部発行し、四十七都道府県及び全市区町村に配布した。
 また、ホームページでの加盟促進を行った。

さらに、全国民俗芸能大会やブロック別民俗芸能大会・後援事業などに出演した未加盟の市町村に加盟依頼した。
 ④第五十九回全国民俗芸能大会(役員会当日開催、日本青年館・全民連共催)、第五十一回ブロック別民俗芸能大会(全民連協賛)及び後援事業の開催概要が報告された。(左表参照)

二 平成二十二年総会開催について
 秋田県羽後町において開催される、平成二十二年総会について、おおまかなスケジュールを決定した。また、全民連から羽後町へ五十万円の支出を決定した。

平成二十一年度 全民連関連事業

【日本青年館と共催】

第五十九回全国民俗芸能大会

十一月二十一日(土) 新宿区・日本青年館

【協賛】

第五十一回ブロック別民俗芸能大会

○北海道・東北 十月十八日(日) 北上市

○関東 十月十八日(日) 前橋市

○近畿・東海・北陸 十一月十五日(日)

○中国・四国 十一月八日(日) 松山市

○九州 十月二十五日(日) 宇城市

実施報告

○第四十八回北上・みちのく芸能まつり

八月一日(土)〜三日(月) 北上市

○第十一回全国こども民俗芸能大会

八月二十日(木)・二十一日(金) 日本青年館

○第十二回全国獅子舞フェスティバル・白山市

十月十日(土)・十一日(日) 白山市

○はやちね全国神楽祭

十月三十一日(土)・十一月一日(日) 花巻市

○第六回夜つぴとい神楽

十一月二十二日(日) 静岡市

○第二十一回民俗芸能と農村生活を考える会

一月九日(土) 大阪市

○第十二回にほんまつ伝統芸能祭

二月十四日(日) 二本松市



伊豆大島吉谷神社正月祭の芸能
(東京都大島町元町)



盛岡の法領田獅子踊り
(岩手県盛岡市乙部)



出雲の奥飯石神楽
(島根県飯南町八神)



下総の佐原囃子
(千葉県香取市佐原)



坂本全民連会長挨拶

特別な味わいがありその土地の風土・人々の暮らしを感じさせてくれます。全民連事務局では未加盟の出演団体及び自治体に対し、全民連加盟を呼びかけています。

平成二十一年十一月二十一日(土)、東京都新宿区の本青年館大ホールにて第五十九回全日本民俗芸能大会(財団法人日本青年館と全民連の共催)が開催されました。今年からは全国から四団体が出演しました。いずれの芸能もそれぞれ独

文化庁協力 第五十九回

全国民俗芸能大会

民俗芸能北から南から 一発見!日本の造形文化遺産

加盟市区町村の紹介コーナー 宮崎県高原町

高原町(たかはるちょう)は、宮崎県西部に位置する人口約1万人の町です。宮崎・鹿児島県境にある霧島山系東端に位置する「高千穂峰」の東麓にあります。高千穂峰(標高1574m)は、南九州を中心に、遠くは肥後・豊後国まで広く崇拝された霊峰で、この高千穂峰を取り囲むように配置された6社(霧島神宮・霧島東神社・狭野神社・東(つま)霧島神社・霧島岑神社・夷守神社)を特に「霧島六社権現」と称し、現在でも厚く崇拝されています。

高原町には、神楽や棒踊り・予祝神事などの民俗芸能が残されていますが、特に著名なのが、学術的に「高原の神舞(霧島神舞)」と呼ばれている2地区の神楽(祓川(はらいがわ)狭野(さの))です。ちなみに、南九州では「神楽」の事を「神舞(カンメ)」「神事(カンゴッ)」と称しています。祓川は霧島東神社(旧称霧島東御在所兩所権現社)の、狭野は狭野神社(旧称狭野大権現社)のそれぞれ社家により伝承されています。どちらの神楽も400年ほど前から行われていると推定されています。現在、狭野は毎年12月第1土曜、祓川は毎年12月第2土曜の、それぞれ午後7時頃から翌朝まで夜を徹して行われます。

かつて宮崎県南・西部を含む旧薩摩藩には数多くの神舞がありましたが、その殆どが衰退あるいは消滅しています。霧島連山近辺にも多くの神舞がありましたが、殆どが古文書で認知できるのみ、あるいは擬似復興・番付減少などの状態で運営されており、従来どおり夜を徹して行われるのは、高原町にある2つの神楽のみとなりました。

「高原の神舞」の特徴としては、屋外に大規模な舞庭を設える事、真剣や長刀など武具を多用した舞の多さが挙げられます。特に12人が真剣を持って舞う「十二人剣(じゅうににんつるぎ)」「祓川」や、子どもが真剣の切先を握って舞う「剣(つるぎ)」「祓川」・「踏剣(ふんつるぎ)」「狭野」は有名です。



祓川神楽「十二人剣」

高原町では、これらの民俗芸能に対して記録保存のためのビデオ撮影を行う一方、平成10~11年度には、文化庁及び県の補助を受け、国内の研究者を招聘して学術調査も実施しました。これにより2つの神楽の重要性が

指摘され、狭野神楽は平成15年に宮崎県の無形民俗文化財に指定されました(祓川は昭和49年に記録作成等の措置を講ずべき無形民俗文化財に選択)。これらの成果により認知度が高まり、平成19年6月に国立劇場で祓川神楽の公演が行われ、同年10月には福岡市で行われた九州地区民俗芸能大会に狭野神楽が出演しました。



狭野神楽「踏剣」

現在、高原町でも少子高齢化及び過疎化が進んでいるため、地区内における後継者(特に子どもと若年層)の確保及び育成が最も大きな課題となっています。特に祓川の場合、霧島東神社の氏子のみで行うというしきたりがあるため、この問題はより深刻です。町としても保存会と連携を取りながら保存に向けての対策を模索しているところです。

(平成21年6月寄稿)

「高原の神舞」は平成22年3月11日 国の重要無形民俗文化財に指定されました

ユネスコ無形文化遺産について 平成21年9月30日にアブダビ(アラブ首長国連邦)で開かれたユネスコ無形文化遺産保護条約に関する第4回政府間委員会におきまして、「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」(代表一覧表)への記載が決議されました。その結果、全民連加盟市区町村からは、「日立風流物(茨城県日立市)」「京都祇園祭の山鉾行事(京都市)」「題目立(奈良市)」「早池峰神楽(岩手県花巻市)」「秋保の田植踊(仙台市)」「チャッキラコ(神奈川県三浦市)」「大日堂舞楽(秋田県鹿角市)」「アイヌ古式舞踊(札幌市・他)」が記載されました。おめでとうございます。